

令和7年度における事務事業の見直し・改善の取組みについて

令和7年6月10日
総務部

- 「山形県行財政改革推進プラン2025」(推進期間：R7～R11年度)に基づき、事務事業の見直し・改善の取組みを強化
- 持続可能な行財政運営を図るための事務事業の見直し・改善【経費削減額：5年間累計250億円】
 - ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた業務量の削減【削減事務量：5年間累計10万時間】

【全ての事務事業】 各部署局長マネジメントのもと、ゼロベースで検証

…長期の事業を中心に、社会経済情勢の変化、事業目的・役割の達成状況、コストの妥当性などの視点に留意

■重点取組分 -事業編-

①重点取組テーマを設定し、プラン期間中の5年間で計画的に見直しを実施

<令和7年度の重点取組テーマ：補助金・助成金>

○対象…政策経費のうち一般財源1,000万円以上のもの(127事業164グループ、一般財源約260億円)

○検証の主なポイント

…課題に対する事業手法、成果指標と目標値の考え方、執行率及びその要因分析 等

②事業所管部署による見直し検討状況、考え方、今後の方針等の整理

③第三者委員(行革委員会の事務事業評価部会)による外部評価を実施

(対象事業は別途選出)

④外部評価を踏まえた知事協議を実施(9月)

■重点取組分 -事務編-

①総務部において見直しの視点を提示

R7は特に、事業編のテーマと連動する形で、補助金業務の効率化(電子申請や外部委託の可否、本庁・総合支庁での重複業務の整理)の点検を促す

②各部署において、見直しの視点を参考に、部局重点取組内容を設定

③部長会議で部局重点取組内容を報告(7～8月)

※部局重点取組内容の設定の他に、事務の軽減や時間外勤務の縮減など働き方改革につながる取組みへの予算措置も検討

6～9月

10月～

次年度以降

知事協議・外部評価結果通知

外部評価での指摘等を踏まえた見直し・改善の検討

事務事業の廃止、又は見直し・改善のうえでのR8予算要求

補助金・助成金については、見直し・改善の取組状況や事業成果、自走化に向けた工程等を、次年度以降の「事務事業の見直し・改善」の中で継続的にフォローアップしていく